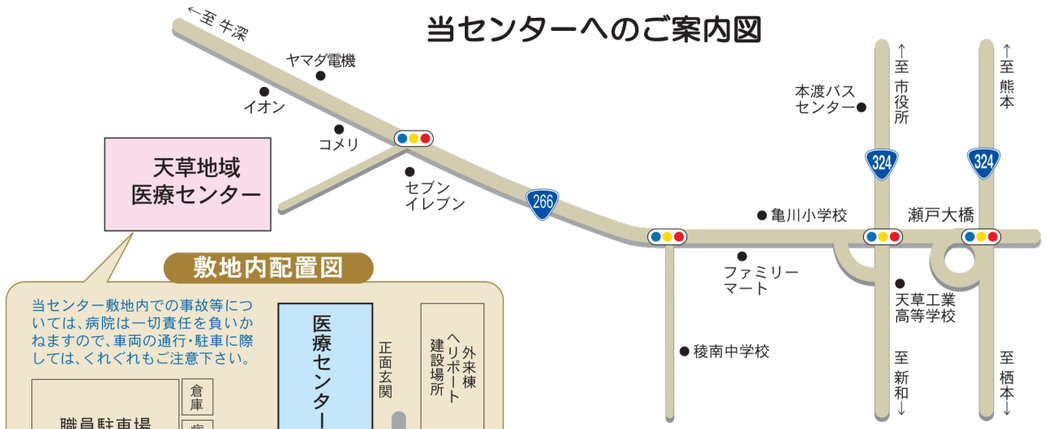
外来診療一覧表

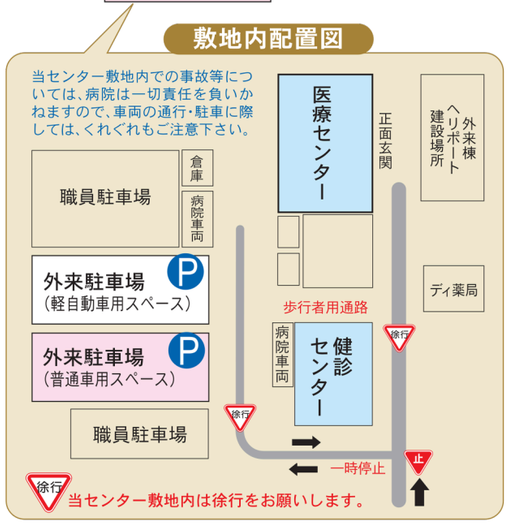
平成25年6月1日現在

	診療科目	月	火	水	木	金	受付時間
一般外来	脳神経外科	植村			植村		7:30～11:30 ※急患については24時間対応
	外　　科		原田			原田	
	整形外科	大江		堀内		大江	
	循環器科	境野		境野・中村		境野	
	消化器内科			坂井	平岡・杉原		
	代謝内科	平島			平島		
	放射線科		中浦				
	泌尿器科	松永	佐藤				
小児科外来	小　児　科	塵岡 石津	塵岡 辛嶋	辛嶋 塵岡	石津	塵岡 辛嶋	8:00～11:30 13:45～16:00 ※急患については24時間対応
特殊外来	内　　科	月1回　土曜日（再診のみ）**有富**					8:00～11:30 予約制
	パーキンソン外来	月1回　土曜日（再診のみ）**後藤**					
	神経内科	月4回　土曜日					
	消化器内科	月2回　土曜日					
	リウマチ膠原病科	月1～2回　土曜日					

当センターへのご案内図



敷地内配置図



一般社団法人　天草郡市医師会立

天草地域医療センター

院長　原田　和則

〒863-0046 熊本県天草市亀場町食場854番地1

TEL 0969-24-4111（代表）

FAX 0969-23-4086　URL http://www.amed.jp

天草地域医療センター広報誌

あまいせ便り

2013. JUNE

vol. 1

【編集・発行】
天草地域
医療センター
新聞広報委員会



ごあいさつ

院　長　原田　和則

５月に入って新緑の季節となってまいりました。先日ひさしぶりに「阿蘇登山」に行って来ました。ミヤマキリシマの開花にはまだ早かったのですが、群生地である仙酔峡から南に仙酔尾根（通称馬鹿尾根という）を標高差700mほど直登しますと阿蘇高岳に至ります。山頂はよくガスがまくのですがこの日は良く晴れており阿蘇五岳、外輪山はもとより、久住連山も良く見通せ、すがすがしく爽快な気分でした。硫黄臭のきつい中岳山頂を廻って熔岩瓦礫跡から下山しました。小生は高校時代は山岳部でしたので、ロードバイク（自転車）やスキーも好きですが時々山行も楽しみとしています。阿蘇では昨年12月の死亡遭難事故（神奈川からの51才男性登山者）が記憶に新しいところですが、山の天候は急に変わります。阿蘇のように見晴らしの良いポピュラーな山でも、ちょっとした捻挫で動きがとれなかったり、ガスがかかって登山道を外れたりしますと、大変な事故に至ることもあります。医療安全も同じようなもので、ちょっとした気の緩みや思い込み、知識不足、シュミレーション不足など「医療事故」へつながる落とし穴が何処にでもあります。何ごとにも「軽い緊張感を保ちながらも、平常心を保つこと」が肝要だと思います。



仙酔尾根



阿蘇高岳にて一服

医療センターでは今年も４名のＤｒと看護職員10名、検査技師２名、事務職員１名を新しい仲間として迎えました。接遇の基本、医療人として普段のスキルアップや菠薐草（報告・連絡・相談）の重要性などを初期研修してもらいました。

私は「いつも張り詰めていないで、プライベートでは自由なリラックス出来る時間を大切にしなさい」と話しておきました。緊張とリラックスをうまく使い分けながら、医療センターの一員として大きく羽ばたいてもらえればと願っています。

平成４年開院から10年くらいは医師会の先生方にお会いする度に、センターを気に懸けておられる様子を肌で感じておりました。多くの先生が開設前後のご苦労にたずさわっておいでで、センター黎明期の意識を共有していたんだろうなと感じています。近年では次第に開業の先生方も世代替わりが多くなったり、新規に開業される先生方、また圏内病院の勤務医の先生方も多くは交替されてきておられます。そういった中で、医療センターの活動内容や業績などは運営委員会、医師会理事会などを通して逐次報告して来てはおりますが、もう少し「親近感」や「自分達の医療機関」として愛着を持ってもらうには、今ひとつ何かが足りないようにも思っておりました。以前から院内には「新聞委員会」がありまして、あまいせ舘、センター便りなど発行しておりました。今般、境野副院長を委員長とした「新聞広報委員会」と名を変えまして、もっと頻繁に広報活動をしてもらうよう指示致しました。本来の医療業務だけではなく、和気藹々とした院内の活動や色んな話題なども少しずつ提供していければと思っています。また、いつも地域のためセンターのために頑張ってくれている職員たちの生の声も、別の意味で楽しみにしていただければと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

あまいせ便りの再出発によせて

副院長　吉仲　一郎　　境野　成次

早いもので、天草地域医療センターに初めて赴任した平成４年から20年以上が経過し、青年医師でありました私たち２人も56歳の年寄りとなりました。この間、医局は14名から始まって、現在は29名と約倍の人数となり、年寄り二人には肩書きが着く様になりました。医師としての人生の大半を天草地域医療センターで過ごしましたので、病院に対しては多大な愛着があります。この愛着ある病院をさらに仕事しやすく、会員の先生がたがさらに利用しやすく、なによりも患者様にさらに感謝されるようなものに、微力ながら努力してまいります。院長室に入りづらい時には、私たち２人の殺風景な部屋ではありますが、気兼ねなくお尋ねください。



看護部長　樋口　友子

新年度がスタートし、看護部は９名の新人看護師を迎え１ヶ月が過ぎました。私たちにとっても、新鮮な気持ちにさせてもらえるこの時期ですが、改めて気持ちを引き締めていきたいと感じさせる時期でもあります。

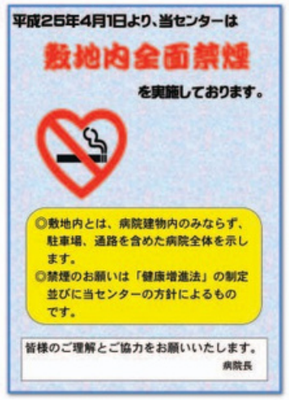
さて、昨年度は電子カルテの導入があり、病院全体がその準備や実施に一丸となって取り組むことが出来ました。看護部も慣れてはきたものの、使用に当たって記録方法の統一やもっと効果的に使用していくための課題も感じており、引き続き取り組むつもりです。また、今年度は看護部の目標に「医療安全への意識と実践能力の向上を図る」を挙げています。医療安全への取り組みは、これまでも行なっているものの実践部分の弱さを感じており、KYTや指差し呼称の実施を確実なものにしていきたいと思っています。



今年度は、外来棟とヘリポートの完成など病院のイベントも控えていますが、新たな環境で良い医療が提供できるようさらに努力していきます。

敷地内全面禁煙 スタート!

4/1より実施中





敷地内禁煙委員会

当センターは、2003年に施行された健康増進法第25条に基づいた建物内禁煙は実施されていました。しかし、保健医療機関は健康増進・病気の早期発見、また病気をもつ患者が診察や治療、相談などのために外来に訪れ、また入院する場所であること、また当センターは熊本県指定がん診療連携拠点病院でもあることから受動喫煙の防止に適した環境作りのため敷地内禁煙の実施となりました。敷地内禁煙がスタートして1ヶ月が過ぎましたが、これまでの準備期間を含めた院内での取り組みを振り返り、そして現在の状況をまとめてみます。

約1年前に敷地内禁煙に向けた敷地内禁煙委員会が発足されました。その前年度に、衛生委員会主催の禁煙に向けた研修会が2回開催されており、喫煙についての知識は得ることが出来ましたが、敷地内禁煙を行なうには何をしていけばよいのか、手探りの状態でした。そのため、事前に他施設の取り組み状況の資料を読み、準備を進めていきました。

平成25年4月1日スタートができるよう、まずは職員や来院者に向けてポスター掲示や文書などでの啓蒙活動を始めました。職員の相談窓口として、健診センター保健師が対応できるよう協力を依頼し、職員は平成25年1月1日より敷地内禁煙をスタートしました。その後、患者対応に向けた入院案内や入院同意書の作成、看板設置や医師会会員への敷地内禁煙説明文書の配布などを行なってきました。

そして、4月1日敷地内禁煙がスタートしました。来院者へは、ポスター掲示と院内アナウンス（朝夕）で理解と協力をお願いし、入院患者さんやご家族へは入院時の同意書をいただいています。また、当センター近隣には民家や大型ショッピングセンターもあり、車両部職員による敷地内外のパトロールを行なっていますが、今のところ大きなトラブルは発生していないようです。今後職員が、患者対応に困るケースも出てくると考えられますが、4月18日に熊本市民病院看護師の藤本恵子氏を招き、「敷地内禁煙における患者対応について」の全体研修会を開催しました。禁煙支援の基本は「5つのA：Ask(尋ねる)、Advice(勧める)、Assess(推察する)、Assist(支援する)、Arrange(フォロー)」であるとのことでした。段階に応じた対応と禁煙指導につなげることができるような知識が必要であることを学びました。当センターには、禁煙外来はありませんが、天草圏内にはいくつも禁煙治療が保険適応となる医療機関がありますので、必要な場合はご紹介できればと思います。

まだ1ヶ月を経過したばかりの状況ですが、敷地内にタバコの吸殻がみられたりしており、今後も病院全体での取り組みが必要です。皆様のさらなるご理解とご協力をお願いいたします。



禁煙治療も保険適応!

ただ今、工事中!
新外来棟・ヘリポート



完成予想図（平成25年８月下旬～9月稼働予定）

新外来棟７月完成予定

昨年の10月１日より始まりました、外来棟・ヘリポート新築工事ですが、今年７月末の完成を目標に、現在予定通り、順調に工事も進んでおります。今後の予定としまして、７月末に引き渡し、８月上旬に引っ越し作業、８月中旬に落成記念式典、ヘリ離発着訓練（２～３回）、新外来棟使用開始８月下旬～９月、そして、ヘリポート使用開始を９月上旬に出来ればと考えています。外来に関しましては従来から待合いが狭隘で診察室も少なく、日常の外来診療にも事欠く状況でありました。今回の建設では広く明るい待合いとプライバシーを考慮しながらも機能性を重視した診察室の配置、心大血管リハビリ室も加えたリハビリ部門、近年需要が急増している外来化学療法室の拡充、各種チーム医療（ＮＳＴ、緩和医療、感染対策 etc）のための事務スペース等々が計画されております。屋上には地域医療再生計画による医療用ヘリポートが設置され、天草医療圏の救急医療にさらに貢献できるものと思っております。工事の間、皆様にはご迷惑をおかけ致しますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

【 新外来棟・ヘリポートの概要 】

PH	ヘリポート
3階	多目的室等
2階	外来化学療法室・リハビリ室・点滴室・管理部門
1階	外来診察室12室・救急外来2室・感染症室1室 医事外来部門・相談室3室・ナースセンター・処置室等



安全祈願祭の様子



工事の様子

NEW FACE



2階病棟
長田　彩

2階病棟に配属されました長田彩です。知識技術ともにまだ未熟で慣れないことも多いですが、先輩方の指導の下、一歩一歩改善し、向上していきたいと思います。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



2階病棟
佐藤　美聖

2階病棟の佐藤美聖です。出身は長崎ですが、天草の環境が好きで当院に就職しました。病棟では覚えることが多く、勉強の毎日ですが、充実した日々を過ごしています。少しでも多くの技術を身につけることが出来るように頑張っていきたいと思います。



3階南病棟
久保　純代

今年度から3階南病棟で看護師として働いています久保純代です。毎日学ぶことが沢山あって、ついて行くのに必死ですが、早く仕事に慣れて笑顔で楽しく働けるように頑張ります。



3階南病棟
松下　由樹

3階南病棟に所属になりました松下由樹です。入社してあっという間に1ヶ月、まだまだ知識も技術も未熟で皆さんにご迷惑をおかけしますが、毎日笑顔で一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



3階北病棟
木戸　美里

天草出身です。趣味は愛犬と近所を散歩することやお菓子作りです。天草の自然豊かなところが好きです。これからも毎日笑顔で頑張りたいと思います。皆さんのご指導よろしくお願いします。



3階北病棟
小手　美幸

私は、天草の准看を卒業し、福岡市の看護学校に行きました。天草の自然が好きで、帰ってくることを決意しました。これから看護師として知識・技術を磨き、いつも笑顔で患者様の心の支えとなるよう精一杯頑張ります。



4階南病棟
久保田憂希

4階南病棟の久保田です。入職して早くも1ヶ月が経過しました。緊張と不安もありますが、どのような時も笑顔を忘れず、落ち着いて対応することができるよう、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



4階北病棟
松本　彩加

4階北病棟に配属になりました松本です。まだまだ不慣れなことが多いですが、患者さんとの関わりを大切にし、安全第一、笑顔で頑張ります。よろしくお願いします。



4階北病棟
松下　真琴

4階北病棟に配属になりました松下です。初めてのことで、いろいろご迷惑をおかけするかと思いますが、一生懸命頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いします。



検査技師
出永万努加

私は、熊本保健科学大学医学検査学科を卒業し、天草に戻って参りました。明るく、元気に仕事をしていきたいと思っております。一日でも早く仕事を覚え、微力ながら皆様のお役に立てるよう努めて参ります。宜しくお願い致します。



検査技師
有田　昇平

北九州の美萩野臨床医学専門学校を卒業しました有田昇平です。趣味はボーリングやダーツ、映画鑑賞です。あと、焼酎が好きなので、よく飲みに行きます。よろしくお願いします。



臨床工学技士
小崎　聖

臨床工学技士の小崎です。主な業務は、急性血液浄化療法、及び慢性血液浄化療法を行っています。今後は、ME機器管理にもカを入れていきたいと思っています。そして、スタッフや患者さんから信頼される技士を目指したいと思います。

新任Dr紹介



麻酔科部長
田口　裕之
（H8卒）

この度4月より熊本大学麻酔下医局より派遣されてきました。よろしくお願いします。3年くらい前から週1回手術麻酔の応援に来ていましたが、常勤となり天草で生活するようになってからは天草住民の方々の優しさに触れ、地域医療に携わる医師としての責任を感じています。手術麻酔という非常に限られた領域の仕事ですが、天草での手術をしてよかったと思われるような医療の提供に関われたらと考えています。



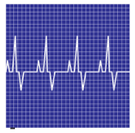
循環器科副部長
伊藤　彰彦
（H6卒）

はや1か月が経過し、やっと環境に慣れてきた今日この頃です。
みなさんがやさしくしてくれるので、すごく仕事がやりやすく感謝しています。
頑張りますのでよろしくお願いします。



外科医員
黒田　大介
（H22卒）

4月から外科所属となりました、黒田大介と申します。
私の父方の祖父母は御所浦に住んでいたため、私自身長期の休みはほとんど天草で過ごしておりました。また、母方の親戚も本渡におり、天草地域には非常に深い縁を感じております。そんな天草で医師として勤められることをうれしく思うとともに身の引き締まる思いでおります。先生やスタッフの方々にご迷惑をかけることもあるかと思いますが、研鑽を積みつつ、天草地域の医療の充実に少しでも貢献できればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



脳神経外科医員
藤本　健二
（H21卒）

4月から天草地域医療センターで勤務することとなりました脳神経外科の藤本健二と申します。初期研修終了後、熊本大学脳神経外科に入局し、熊本大学、国立病院機構熊本医療センターで勤務を行いました。まだまだ未熟ではありますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



院長より「新聞広報委員」として命を受け、素人ながらにメンバー全員で、一所懸命に頑張り、なんとか発行までたどり着く事が出来ました。

今回、発行しました「あまいせ便り」は、院長・副院長・看護部長あいさつ、新人職員紹介、敷地内全面禁煙、新外来棟ヘリポート工事と、記事の数としては少し物足りなかったのですが、今後は、本来の医療業務だけではなく、和気藹々とした院内の活動や色んな話題、そして、職員たちの生の声などを、私たち自身も楽しみながら、皆様に少しずつ発信していければと思っています。

「新聞広報委員」としては、まだまだ未熟な私ですが、今後ともよろしくお願い致します。

文責：新聞広報委員　清田　千草